

長久手市タウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和8年7月11日(土) 午後2時30分～
- 2 開催場所 市が洞小校区共生ステーション
- 3 参加者 8名
- 4 内容 市長あいさつ（市政報告）、市民の皆さんと市長のフリートーク
- 5 主な意見(要点筆記)

（医療的ケア児在宅レスパイト事業）

Q 医療的ケア児在宅レスパイト事業は看護する家族の負担軽減になり、良い取り組みです。継続してほしいです。対象者は何人で、何人から申請がありましたか。

A 市で把握している医療的ケア児は約 25 人で、そのうち、訪問看護を利用している児童が医療的ケア児在宅レスパイト事業の対象となり、その人数は約 15 人です。2人の方から申請をいただきました。

（企業誘致）

Q 今は人口が増加していますが、20 年先も人口増加が続くものではないと思います。未来のまちづくりについては、長久手市が事業収入を上げるよりも、まず、企業を誘致し、長久手で働ける場を創出し、若者の流出を防止すべきではないかと思います。

A 長久手市は、今後 10 年ほどは人口の増加が見込まれますが、高齢者の割合も高くなることから、高齢者の健康促進が重要と考えます。市では、今年度、行政マーケティング推進室を新設し、企業誘致についても検討をしています。

（人口の増加率）

Q 人口の増加率はなぜ鈍化しているのでしょうか。

A 長久手は昭和 40 年代から区画整理事業を進め、田んぼだったところに家が建設され、急速に発展しました。その結果、国勢調査では日本一平均年齢が若いまちとなり、働き盛りの生産年齢人口も増加し、税金にも恵まれてきました。令和5年に、区画整理事業が一旦区切りとなったため、人口の伸びは鈍化してきています。

（ネーミングライツ）

Q ネーミングライツは、どの施設で考えているのでしょうか。

A ネーミングライツについては、体育館や共生ステーションなど、様々な施設で考えています。

(不登校支援)

Q 小中学校の不登校の数が多いと聞きます。不登校や発達障害の支援はどのようでしょうか。

A 不登校支援は重要と捉えています。N-ハウス、校内フリースクール、商業施設にある校外フリースクールを整備しています。授業のライブ配信、メタバース空間での授業出席など、ICTを活用して、教育が受けられる機会を設けられるよう、教育委員会と研究をしています。

発達障害に関しては、昨年度から学校に、作業療法士を導入しました。また、教員を対象に、ディスレクシア(読み書きの障害)の研修を行っています。

そのほか、長小、西小学校では、色々な立場の方、地域住民の方が加わり、地域一体となって取り組むコミュニティスクールを実施しており、この取り組みは順次拡大していく予定です。

(放課後子ども教室、児童クラブ)

Q 放課後の子どもたちの居場所がないと思います。放課後、小学校を開放し、子どもたちが体を使って遊び、教え合い、そこに市民が関わっていく、子どもたちの居場所を作ることが大切で、それは、お母さんたちの支援にもつながると思います。

A 放課後の小学校では、放課後児童クラブ、放課後子ども教室を行っています。放課後の子どもたちの居場所としては、学童保育所もあります。コミュニティスクールやまちづくり協議会で、学校を支えていくことを実施しており、今後拡大していきたいと思います。

(旧香流苑緑地再整備事業)

Q 香流苑跡地利用はどのようでしょうか。

A 全体の7割を売却し、売却地は、業者が200世帯程度のマンションを建設予定です。3割は市有地として残し緑地として整備します。緑地をどうしていくか、市民の皆さんと話し合う機会を設けていきます。

(学校の校則)

Q 昔は、校則が厳しかったが、今はどのようになっているのでしょうか。

A 7年程前に全国的にブラック校則という問題が話題になりましたが、それ以降、市でも校則が見直され、緩和されています。例えば、男子も長髪は可能で、女子もズボンを選択できるようになりました。

(後山公園の落書き)

Q 後山公園の落書きがあったが、どうなっているのでしょうか。

A 確認し、対応します。(落書きを確認し、消去作業を完了しています。)

(ふるさと納税の返礼品の充実)

Q ふるさと納税の返礼品を充実してはいかがでしょうか。

A ふるさと納税返礼品の一番人気はうなぎで、二番人気はゴルフの打ちっぱなし券、三番人気はチーズです。市内に加工場があることから返礼品としています。ジブリパークのチケットを返礼品としたいところですが、近隣自治体との兼ね合い、著作権の問題で、難しい状況です。長久手市としては、最大限、返礼品の充実に取り組んでいきます。